

# Oracle トレーニング・オンデマンド/ Oracle ラーニング・サブスクリプション 演習環境接続のためのシステム確認

(SGD 接続)

2019 年 4 月版

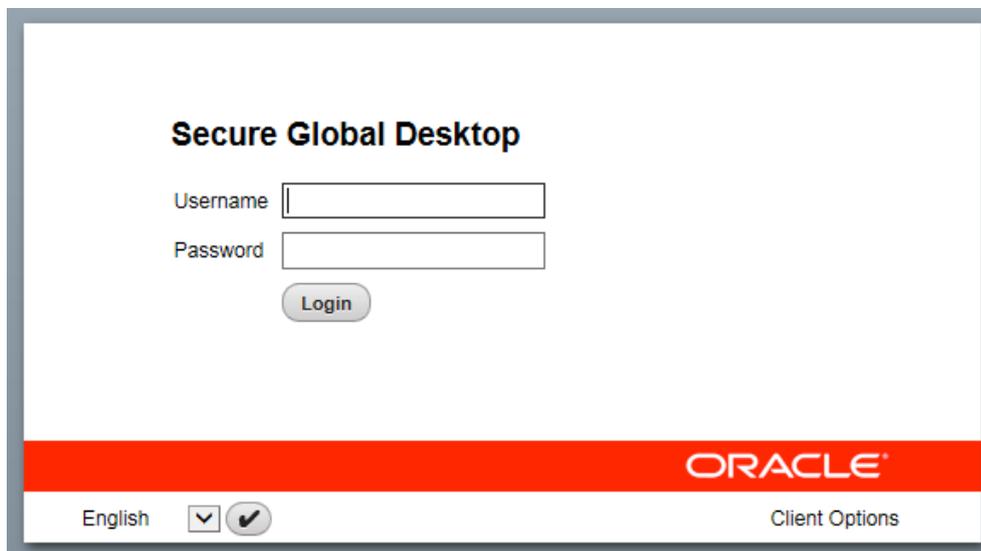
日本オラクル株式会社 オラクルユニバーシティ

本ガイドでは、Oracle トレーニング・オンデマンド / Oracle ラーニング・サブスクリプション受講者が、Secure Global Desktop (SGD) 接続によって安全に演習環境に接続するための、前もってのシステム確認手順を説明しています。

※実際の接続方法を記載していますが、本ガイドでは接続アカウントは提供していません。

接続アカウントは、予約された演習環境開始日の直前に通知されます。

※ここでは、ログイン前の画面までをお試しください。また、ログイン以降の手順も参照してください。



※なお、コースによって実際の接続手順は異なります。

## 【目次】

### 1. 演習環境の予約

### 2. Oracle University の研修コンピューターへの接続(SGD による接続)

### 3. よくあるお問い合わせ(FAQ)

#### 1. 演習環境の予約

- ① 「演習環境」タブの「2. 演習環境の予約」より希望週を選択し、演習環境を予約します。水曜日頃まで翌週分を予約可能。※利用有効期限日間近の週はカレンダーに表示されない場合があります。余裕をもって早めにご予約ください。

1) 演習環境タブをクリック

この画面の場合は「Labs」をクリック

2) 予約する週を選択し、演習環境を予約

Navigation Ed 1 (JP)

- Ask Your Instructor
- eKit
- Labs
- Support

Schedule Your Lab >

You MUST schedule your lab in order to get lab time. Lab reservations for next week close Thursday of this week. Use the calendar below to place your lab request. Click an open week box of a month you would like to request for your lab time. You can select only one week, up to three months out from your course purchase.

September 2017	October 2017	November 2017	December 2017
Week of Sep 18	Week of Oct 02	Week of Nov 06	Week of Dec 04
Week of Sep 25	Week of Oct 09	Week of Nov 13	
	Week of Oct 16	Week of Nov 20	
	Week of Oct 23	Week of Nov 27	
	Week of Oct 30		

Submit Lab Request >

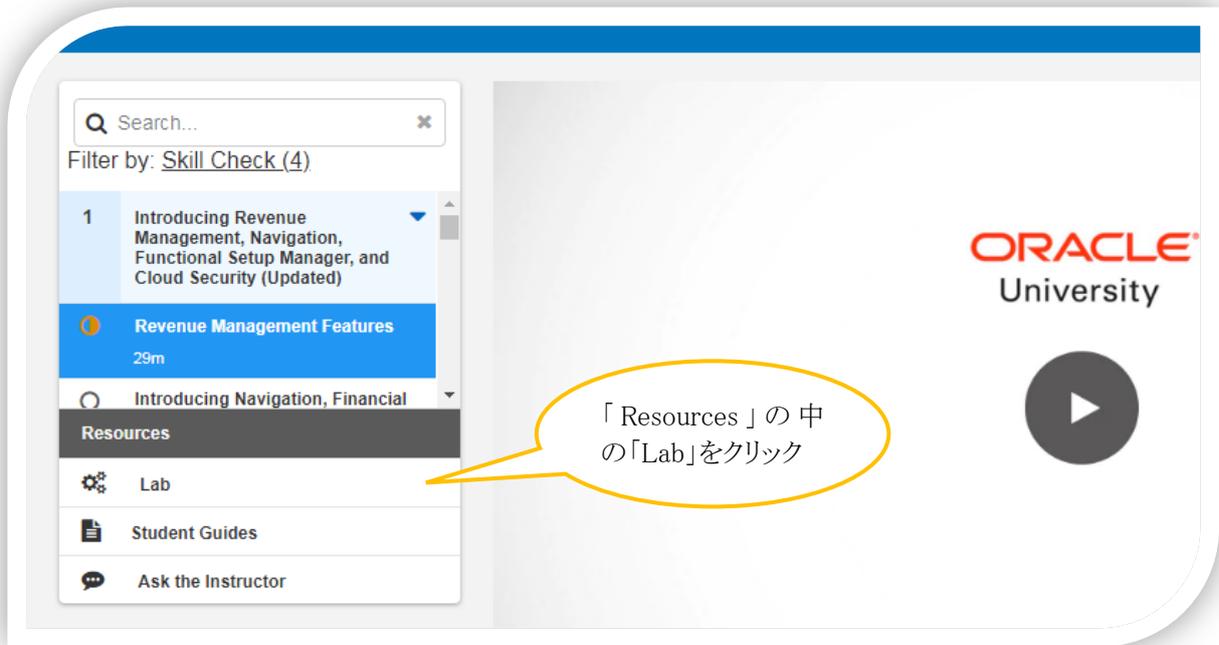
※Oracle ラーニング・サブスクリプション等で次のような画面の場合は「Lab」をクリック。

Consolidations / 予算と連結の導入

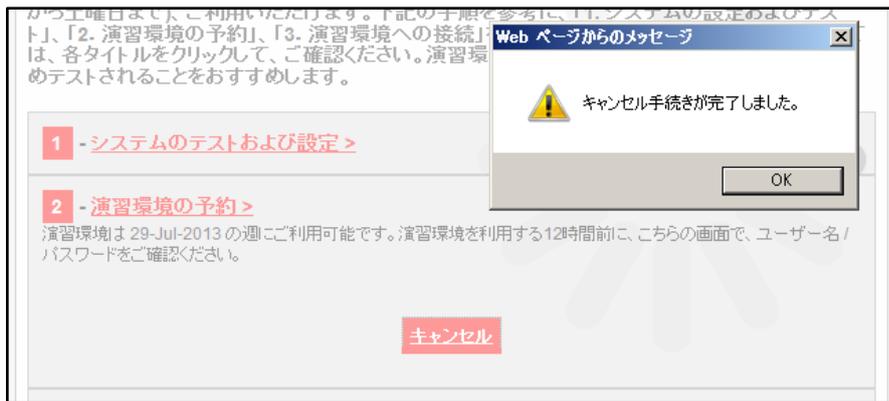
Progress: 0 %

「Lab(演習環境を予約する)」をクリック

Lab - Oracle Financials Cloud: Enterprise Structures with GL Imp Environment	演習環境を予約する	Not Scheduled
Oracle Financials Cloud: Enterprise Structures with General Ledger Implementation Ed 1 (日本語)		



- ② 水曜日頃までは翌週予約分をキャンセルすることが可能です。



- ③ 演習環境への接続手順は、予約日までに届く[演習環境の予約変更内容]メールや画面で確認します。  
ただし、別途、日本語の接続手順案内メールが届いた場合はそちらを参照してください。

## 2. Oracle University の研修コンピューターへの接続(SGD による接続)

Secure Global Desktop (SGD) という安全なネットワーク接続を使用して演習環境に接続します。職場などの VPN に接続していて問題が発生する場合は、一旦切断してお試しください。

**SGD には3通りの接続方法が用意されています。**

**X. 接続前の共通操作①～③** を最初に必ずご確認ください。

**A. SGD クライアントによる接続:** 画面どおりに進んでいくと、SGD クライアントソフトウェアによる接続となります。前もって該当ソフトウェアをインストールする必要があります。Java は使用しません。

**B. Java による接続:** Java がインストール済みで有効である必要があります。過去に SGD で Java 接続されたことのある方や、クライアントのインストールが困難な方は、最初からこちらでお試しください。

**C. HTML5 による接続:** ブラウザが HTML5 に対応している必要があります。Java や SGD クライアントなど追加のソフトウェアのインストールが不要です。**ただし、コースによってはキーボード配列が正しく認識されない場合がありますので本接続は推奨しておりません。**

接続方法の切り替えは、Top ページあるいはログイン画面右下の「Client Options」から行います。

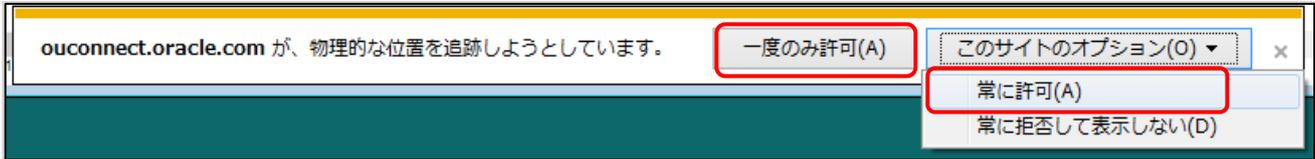


各接続の準備ができている場合は、該当接続の「Click here to login」をクリックします。



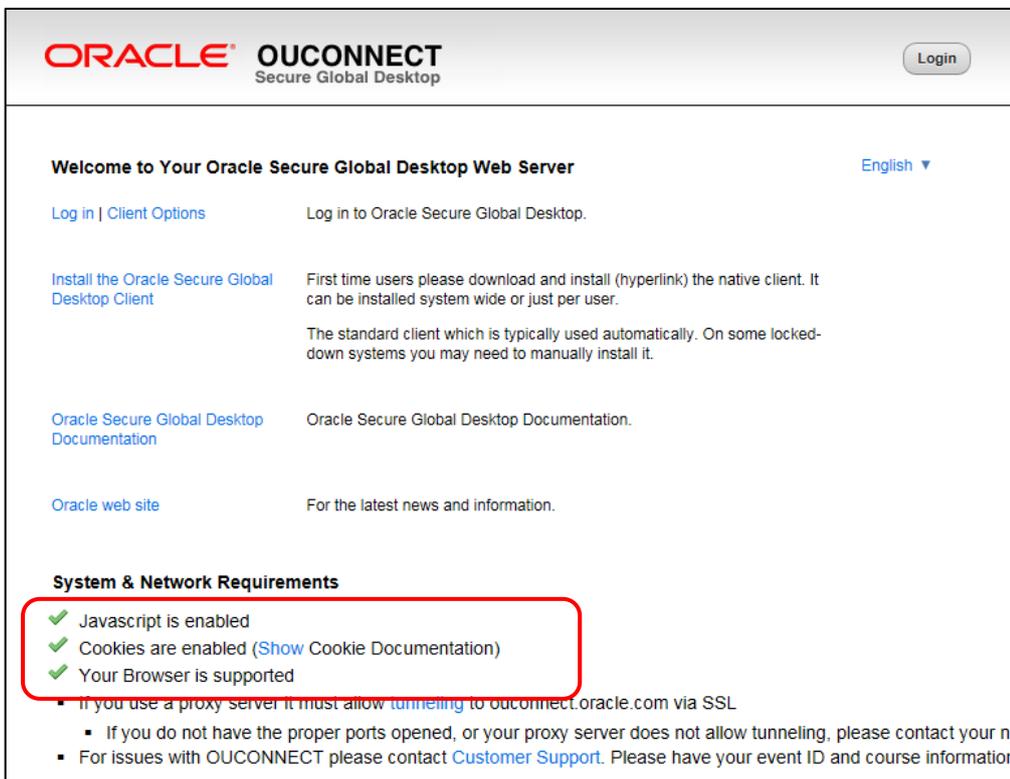
## X. 接続前の共通操作①～③

- ① <https://ouconnect.oracle.com/> にアクセスします。
- ② 位置情報を求める情報バーには「一度のみ許可」あるいは「常に許可」をクリックしてください。  
※位置情報は接続に最適なゲートウェイの自動選択に使用されます。



- ◆ 初回アクセスでも位置情報を求める情報バーが表示されない場合、位置情報を「常に拒否」としてしまった場合などは、[FAQ の\(2\)](#)を参照。

- ③ JavaScript や Cookie が有効になっているか、ブラウザがサポートされているかチェックが行われます。問題が無い場合は緑のチェックマークが表示されます。



※サポート要件外でもログインできる場合は黄色の三角マークが表示されます。そのまま進んで接続に問題ないかご確認ください。黄色の三角マークの場合は通常、問題ありません。

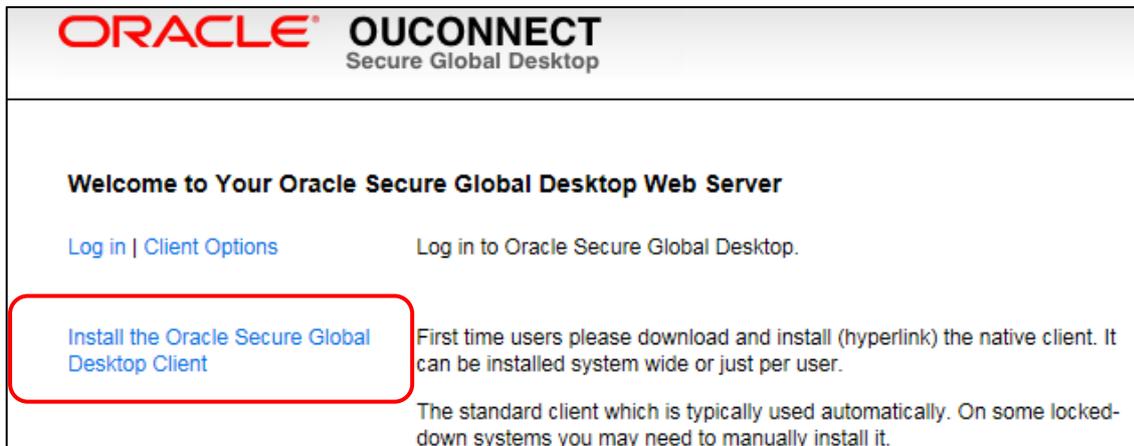
※問題がある項目は赤い×印で表示されますが、ログインできる場合はそのまま進んで問題が発生するかどうかご確認ください。赤い×印の場合は通常、対応が必要です。

(赤い×印や黄色い三角の例)

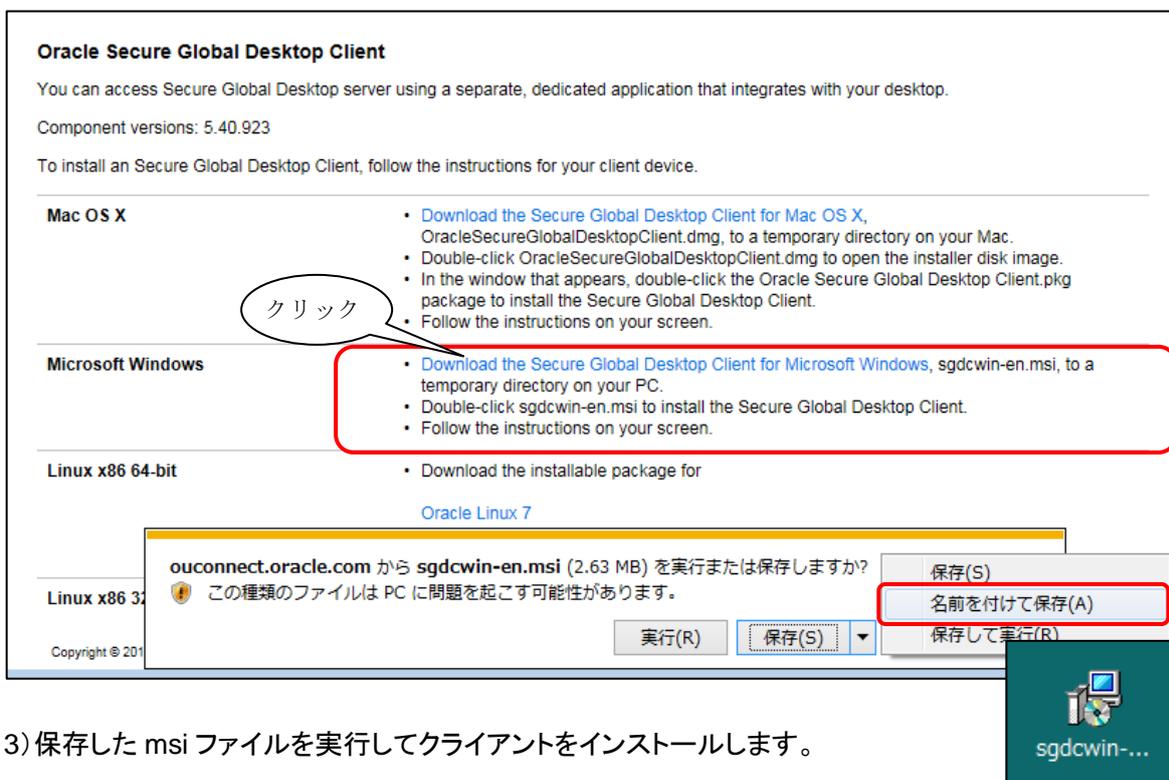


## A. SGD クライアントによる接続

- ④ SGD クライアントソフトウェアをインストールしていない場合は、インストールします。  
1) Top ページで「Install the Oracle Secure Global Desktop Client」をクリックします。

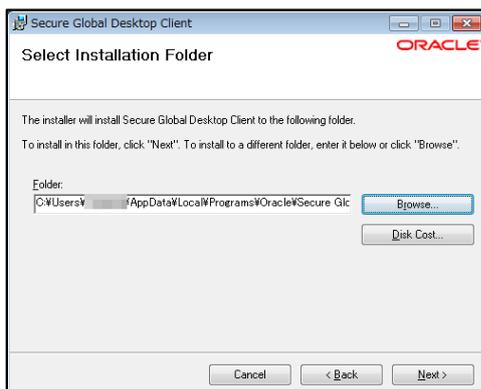


- 2) Microsoft Windows 用のクライアント(Client)を任意の場所に保存します。



- 3) 保存した msi ファイルを実行してクライアントをインストールします。

- 4) 実行途中にクライアントをインストールするフォルダを変更できますが、このまま進めます。  
初期値 C:\Users\%[ユーザー名]\AppData\Local\Programs\Oracle\Secure Global Desktop Client\



⑤ ブラウザ右上の「Login」をクリックします。



⑥ 通知されるユーザ名とパスワードを Username 欄と Password 欄にそれぞれ入力してログイン（『Login』）します。 ※Username 例: XXXXXXXX.user01 (XXX は数字)



⑦ LOADING 画面で、sgd ファイルについて尋ねられます。

(1) SGD クライアントを初期値フォルダにインストール済み、あるいは sgd ファイルと紐づけ済みの場合:

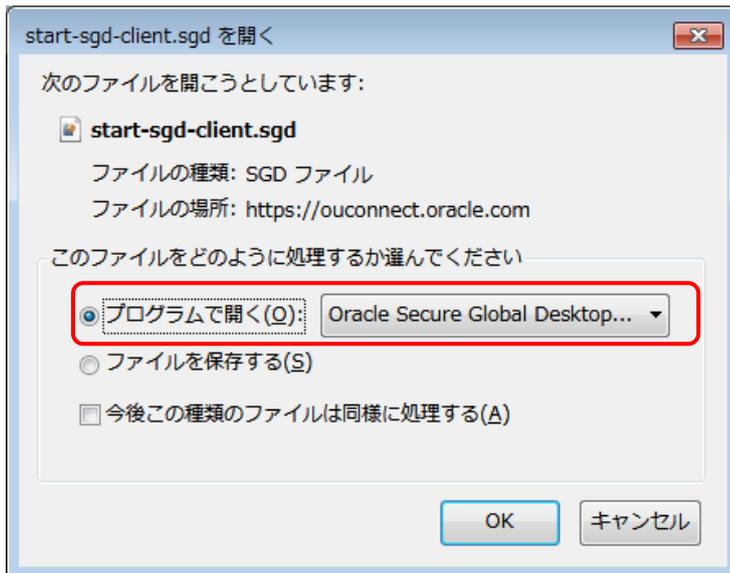
- a. Internet Explorer では「ファイルを開く」
- b. Firefox では「プログラムで開く」
- c. Chrome では求められた場合、sgd ファイルを任意の場所に保存し、そのファイルを「開く」。

ログインできた場合は Workspace 画面が開きます。

Internet Explorer 11 の場合



## Firefox の場合



## Chrome の場合



(2) 未インストールの場合: 「キャンセル」を選択し、④を参考にインストールをしてください。

(3) 初期値ではないフォルダーにインストール済みで、「ファイルを開く」とエラー等が表示された場合:

インストール済みのプログラムをアンインストールし、初期値のフォルダーにインストールし直してください。

あるいはご自分でできる方は、sgd ファイルに、tcc.exe の場所を指定して紐づけてください。

例) Internet Explorer の場合、「このファイルを開けません」というボックスで「インストールされたプログラムの一覧からプログラムを選択する」を選択し、インストールした tcc.exe を指定します。

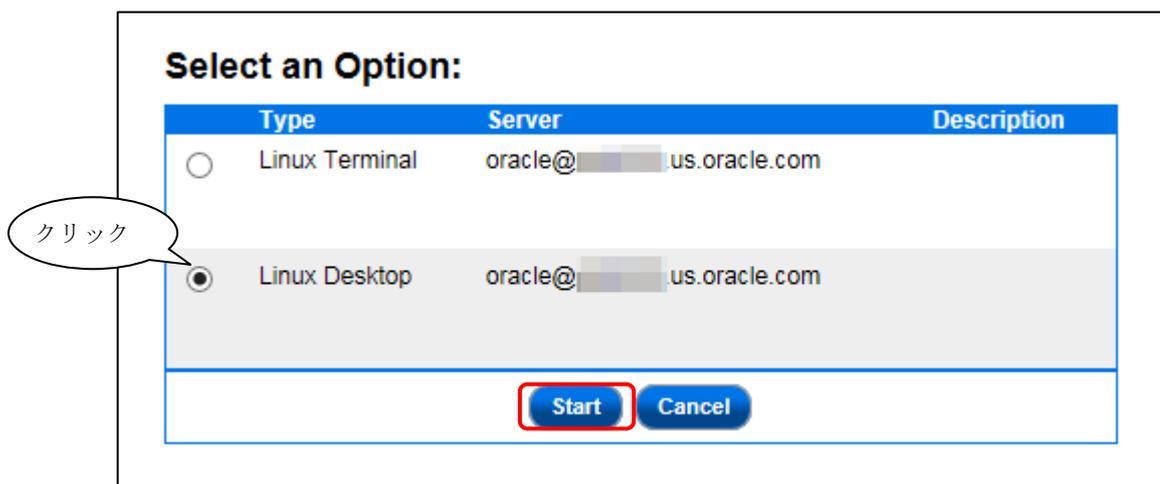


## Z. 接続後半の共通操作⑧～⑫

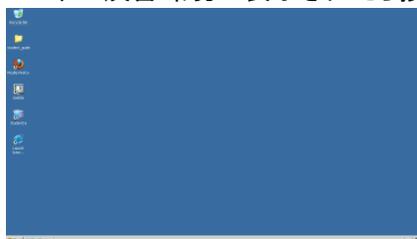
⑧ Login 後の画面で「My Training Environments」をクリックします。※文字の上をクリック。



⑨ 割り当てられたサーバーやデスクトップを選択し、Start ボタンをクリックします。



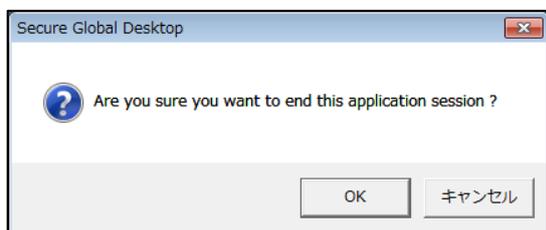
⑩ 正常に演習環境が表示されたら接続完了です。



※接続できない場合の対応例

- ブラウザを再起動(Cookie やキャッシュも削除)
- 別のブラウザを試す
- 別の PC やネットワーク環境で試す
- Java 接続の場合 Java のバージョンを最新に更新する

⑪ 接続を終了するには、ウインドウ右上の「X」をクリックして演習環境を閉じます。確認メッセージには「OK」をクリックします。



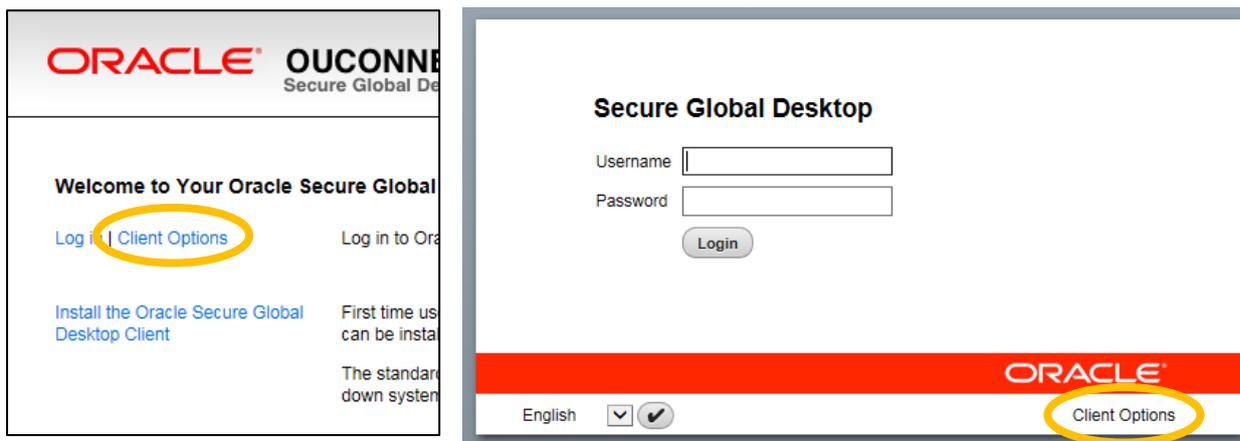
- ⑫ 元の画面で Secure Global Desktop (SGD) から「LOGOUT」してください。確認メッセージには「OK」をクリックします。



## B. Java による接続

### X. 接続前の共通操作①～③ 後、

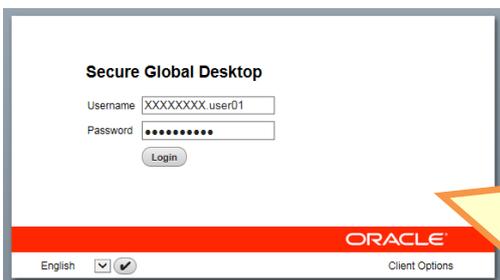
- ④ Top ページあるいは「Log in」クリック後の画面右下の「Client Options」をクリックします。



- ⑤ 「To use Java to start the Oracle Secure Global Desktop Client」の「2. Click here to login」をクリック。



- ⑥ 通知されるユーザ名とパスワードを Username 欄と Password 欄にそれぞれ入力してログイン（『Login』）します。 ※Username 例: XXXXXXXX.user01 (XXX は数字)



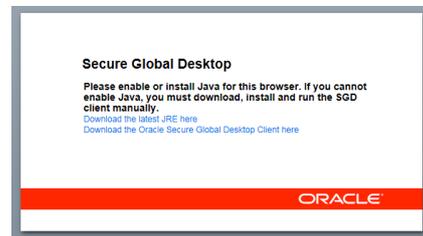
※本ガイドでは接続アカウントは提供していません。接続アカウントは、予約された演習環境開始日の直前に通知されます。

※ここでは、ログイン前の画面までをお試しください。また、以降の手順を前もって確認してください。

Java の実行許可やアプリケーションの実行可否には、[許可]、[実行]、[Yes]などを選択します。  
 ※Chrome 等で Java 接続する場合の注意点は [FAQ\(3\)](#) を参照してください。



◆ Java がインストール/有効化されていない場合は  
 右のような画面になります。  
 対応手順は、FAQ の [\(1\)](#) [\(4\)](#) を参照。



以降は、[Z. 接続後半の共通操作⑧～⑫](#) を参照してください。

## C.HTML5 による接続

※HTML5 を利用するログインは、コースによっては、キーボード配列が正しく認識されない場合があります。  
 他の接続方法を推奨いたします。

[X. 接続前の共通操作①～③](#) 後、

④ Top ページあるいは「Log in」クリック後の画面右下の「Client Options」をクリックします。



- ⑤ 「To use the HTML 5 Client」の「1. Click here to login」をクリック。



- ⑥ 通知されるユーザ名とパスワードを Username 欄と Password 欄にそれぞれ入力してログイン(『Login』)します。 ※Username 例: XXXXXXXX.user01 (XXX は数字)



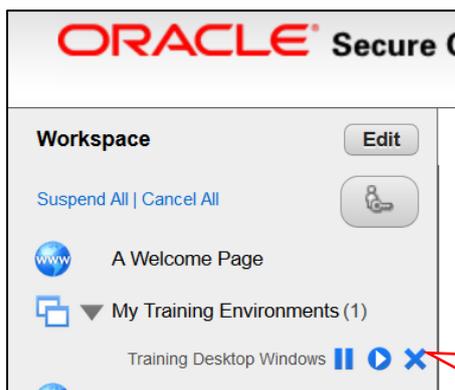
※本ガイドでは接続アカウントは提供していません。接続アカウントは、予約された演習環境開始日の直前に通知されます。

※ここでは、ログイン前の画面までをお試しください。また、以降の手順を前もって確認してください。

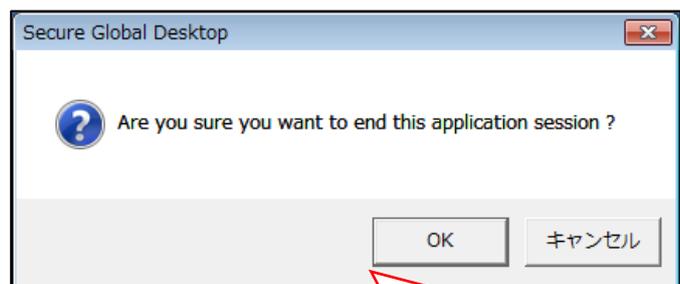
以降は、[Z. 接続後半の共通操作⑧～⑫](#) を参照してください。

### HTML 5 接続時の注意点

- ご利用のブラウザが HTML5 に対応している必要があります(最新のものほとんど対応しています)。 ※モバイル機器からのアクセスはサポートしておりません。
- 演習環境画面は、ブラウザの別タブか別ウインドウに表示されます(ブラウザの設定による)。
- 演習環境画面の上部や横側に、いくつかの機能(Clipboard や Copy 等)を示すアプリケーションツールバーが表示される場合がありますが、これらの機能はサポートしておりません。
- 演習環境を表示しているブラウザウインドウやタブを閉じて、環境接続は終了していない場合があります。終了する場合、最初の画面左側の「My Training Environments」メニューの X をクリックして下さい。



演習環境接続を終了する場合、X をクリック。



演習環境接続が終了する場合は通常、確認メッセージが表示されます。

### 3. よくあるお問い合わせ (FAQ)

#### (1) Java インストールが求められた / Java アプレットが表示されない / IE で下記 POPUP が表示された



⇒ Java のインストールや有効化をお試しください。

・インストールする場合：<http://java.com/ja/> サイトからダウンロードしてインストール。

・有効化する場合の手順例 (バージョン 1.7.0\_10 以上)：

スタート > コントロールパネル > [Java]

あるいは、

スタート > すべてのプログラム > [Java]

> [Configure Java] (Java の構成)

から開いた Java コントロール・パネルで

「セキュリティ」タブを選択、

[ブラウザで Java コンテンツを有効にする] にチェックを入れて OK。ブラウザ再起動。



#### (2) 初回アクセスにも関わらず、位置の要求の情報バーが表示されない、 情報バーで「常に拒否して表示しない」を選択してしまった。

⇒ (Internet Explorer の場合) 位置の要求が許可されているかを下記手順で確認し、「サイトのクリア」を行い、再度アクセスをお試しください。

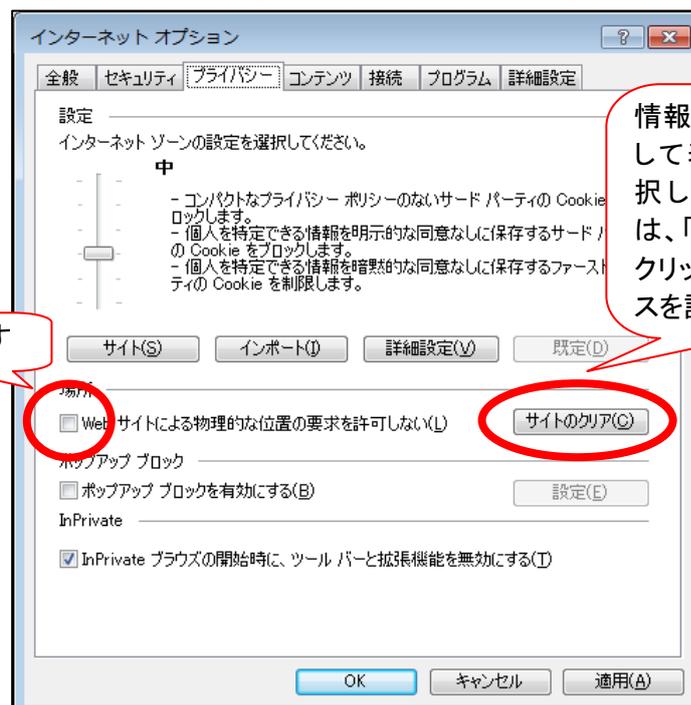
スタート > コントロールパネル > インターネットオプション > [プライバシー] タブ 選択

> [Web サイトによる物理的な位置の要求を許可しない] にチェックが入っている場合は外す

> 「サイトのクリア」をクリック

> OK

> 再度アクセスし直す



チェックを外す

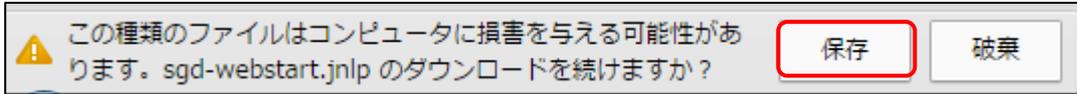
情報バーで「常に拒否して表示しない」を選択してしまった場合は、「サイトのクリア」をクリックして再度アクセスを試す。

### (3) Chrome ブラウザ等で Java 接続する場合の手順例

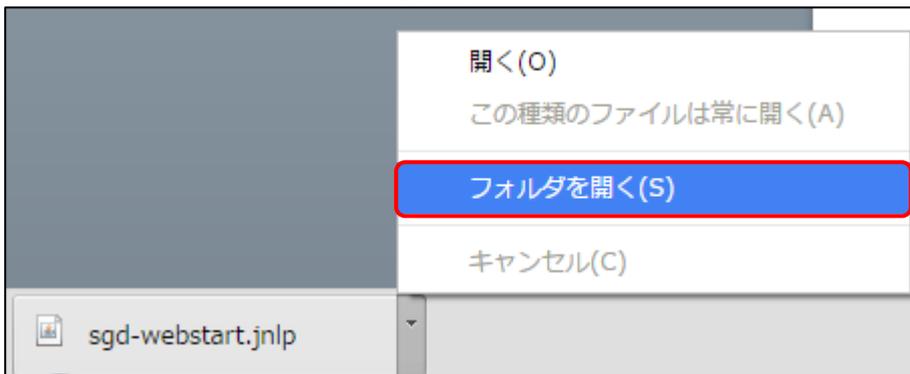
⇒Java に対応していないブラウザで、Java 用のログインリンクからアクセスする場合は、下記手順例をお試しください。それでもアクセスできない場合は別のブラウザをご利用下さい。

1) **B. Java による接続** で手順⑦まで進めます (Java アプレットは表示されません)。

2) ログイン中の Loading 画面で、JNLP ファイルの保存メッセージが表示されたら「保存」を選択します。

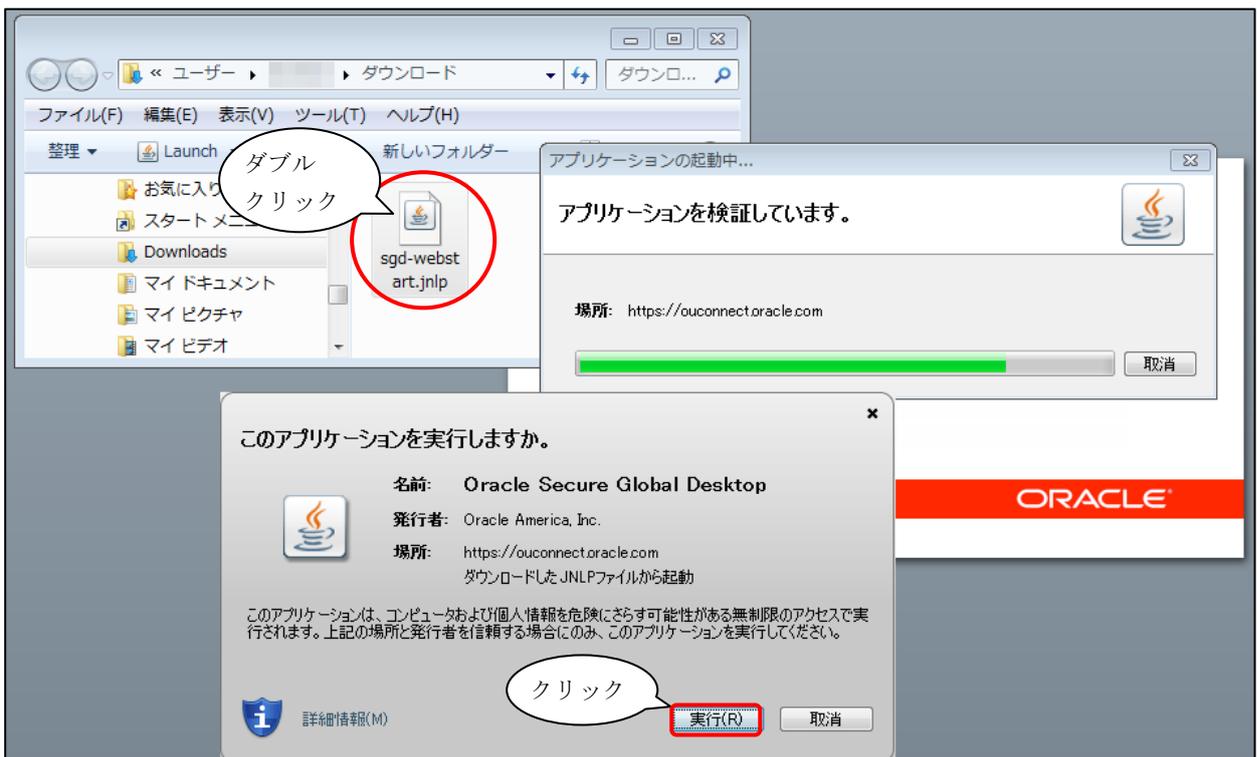


3) 保存後、▼から「フォルダを開く」を選択します。



4) 開いたフォルダの JNLP ファイルを実行し、「このアプリケーションを実行しますか。」というアプレットが表示されたら「実行」をクリックします。JNLP ファイルは自動的に削除されます。

※Windows10 では、先に JNLP ファイルとインストール済みの Java の javaws.exe を紐づけておく必要があります。javaws.exe ファイルを検索してパス(場所)をコピー。jnlp ファイルを開く際に、「その他のアプリ」=>「この PC で別のアプリを探す」「常に、、、」にチェックを入れておく=>ファイル名欄にコピーしたパスを貼り付けて「開く」。以降は JNLP ファイルを普通に実行できます。



#### (4) 64ビット版 OS で Java アプレットが起動しない。

⇒64ビット版 OS(オペレーティング・システム)の場合は、32ビット版と64ビット版の両方の Java をインストールする。

※64ビット版の OS かどうかは通常、コントロールパネル(>システムとセキュリティ)>システムの「システムの種類」欄で確認できます。

システム

製造元: [不明]

モデル: [不明]

評価: 4.9 Windows エクスペリエンス インデックス

プロセッサ: Intel(R) Core(TM) i5-3340M CPU @ 2.70GHz 2.70 GHz

実装メモリ (RAM): 8.00 GB (7.89 GB 使用可能)

システムの種類: 64 ビット オペレーティング システム

ペンとタッチ: このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

関連項目

- アクションセンター
- Windows Update
- パフォーマンスの情報とツール

1) インストールされている Java のバージョンを確認。

コントロールパネル(>プログラム)>プログラムと機能 一覧に 32ビット版と64ビット版の両方の Java がインストールされているかを確認します。下図は両方インストールされている場合。

名前	発行元	インストー...	サイズ	バージョン
Java 8 Update 91	Oracle Corporation	2016/04/27	89.2 MB	8.0.910.14
Java 8 Update 91 (64-bit)	Oracle Corporation	2016/04/27	23.4 MB	8.0.910.14

2) どちらかの Java がインストールされていない場合、

手動ダウンロードサイト <https://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

からインストールされていない方のオフライン版をダウンロードしてから実行でインストールします。

3) 本サイト(<https://ouconnect.oracle.com/>)にアクセスして確認します。状況が変わらない場合は、ブラウザのキャッシュを削除後、ブラウザを再起動して確認してみてください。

## (5) Java の例外サイトへの追加を求められた場合

⇒追加を求められない場合は設定不要です。

⇒設定する場合、Java のバージョンを確認し、例外サイト・リストに本サイトを追加するなどしてください。

1) Java のバージョンを確認する。確認サイト: <http://java.com/verify/>

※バージョン確認やインストール自体が確認できない場合は、Java のインストールから行って下さい。

32bit 版ブラウザ使用の場合は、32bit 版用の Java のインストールが必要です。

2) Java コントロール・パネルの「セキュリティ」タブで操作

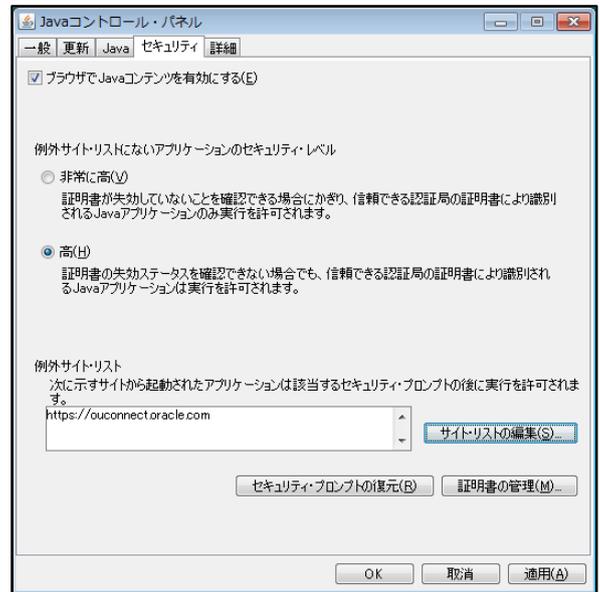
(1a) スタート>コントロールパネル>[Java]

あるいは

(1b) スタート>すべてのプログラム>[Java]  
>[Configure Java] (Java の構成)

開いた Java コントロール・パネルで

「セキュリティ」タブを選択



(A) Version 7 Update 51 (1.7.0\_51) 以上の場合  
(Version 8 以降も含む)

例外サイト・リストに本サイトを追加。

「サイト・リストの編集」をクリック

>「追加」をクリック

>URL 欄に「<https://ouconnect.oracle.com>」を

入力

>OK>OK

(B) Version 7 Update 10 (1.7.0\_10) ~Update 45 の場合

セキュリティ・レベルを一旦「中」あるいはそれ以下に設定して OK。

3) 本サイトに再度アクセスしてお試しください。警告メッセージには「実行」や「許可」を選択してください。

※(B) の場合、Cookie が残る設定にしてあれば、後でレベルを「高」に戻して構いません。

## (6) 全般的な対処法、注意事項

1) 問題が発生し続ける場合は、ブラウザのキャッシュや Cookie を全てクリアして再度お試しください。

2) Java の異なるバージョンが重複してインストールされていると問題が発生することがあります。重複している場合は、コントロールパネル>(プログラム)>プログラムと機能からアンインストールしてください。Java のバージョンを確認するには、[Java 確認サイト](#)にアクセスしてください。

3) 可能であれば、別のブラウザ、別の PC、別のネットワーク環境でのアクセスもお試しください。途中に出てくる、位置情報や Java の実行等の確認は、可能な限り許可するようにしてください。